

# 令和5年度地域学校協働活動研修会(前期)

## 兼 人づくりまちづくり研修会①

- 1 目的 おかやま子ども応援事業等の教育支援活動を効果的に進めるために、地域連携担当教職員、地域学校協働活動推進員・地域コーディネーター、学校支援ボランティア、放課後・土曜日等支援関係者、家庭教育支援関係者、公民館関係者、行政関係者等の資質の向上を図る。
- 2 主催 岡山県教育委員会・おかやま子ども応援推進委員会
- 3 日時 令和5年6月16日(金) 13:30~16:15
- 4 会場 津山リージョンセンター
- 5 参加者 地域連携担当教職員、地域学校協働活動推進員・地域コーディネーター、学校支援ボランティア、放課後・土曜日等支援関係者、家庭教育支援関係者、公民館関係者、学校・家庭・地域の連携・協働に興味関心のある方、行政関係者等
- 6 日程
- 13:00~13:30 受付
- 13:30~13:35 開会行事
- 13:35~15:05 【講演】
- 「地域と学校の連携・協働のススメ  
~〇〇から始まる『学校を核とした地域づくり』~」  
講師 文部科学省国立教育政策研究所生涯学習政策研究部  
総括研究官 志々田 まなみ 氏
- 15:05~15:15 休憩
- 15:15~16:10 【ワークショップ(情報交換)】  
「これからの地域と学校の連携・協働の充実に向けて」
- 16:10~16:15 閉会行事



### 【講演】

- 1 CSと地域学校協働活動の違い
- 2 CSと地域学校協働活動の一体的推進



### 【ワークショップ】

- 1 自己紹介・講演の感想交流
- 2 熟議ワークショップ  
(1) 所属地域・学校・家庭での子どもを取り巻く課題の共有と解決に向けての方策について  
(2) 個人や所属組織でできそうなこと
- 3 全体共有
- 4 指導・助言(志々田先生より)



### 《感想》

- ・学校と目標を共有し、学びを地域でも生かせることが子ども達の育ちにとっても有意義であることがわかりました。[地域学校協働活動推進員]
- ・学校運営協議会のメンバーが多様であること、また、特に高校生くらいの卒業生に入ってもらおうことが、会にとっても本人にとっても、とても意義深いことを確認しました。[地域学校協働活動推進員]
- ・これからCSを導入する予定で、同じ中学校区の方々としっかり情報交換ができてよかったです。[教職員]
- ・CSを通じて、自分自身に子どもはいなくても、まずは身近なところから学区の子どものことを真剣に考える機会を持っていきたいです。[公民館職員]
- ・当事者意識をもち多様な人と関わりながら、子どもをめぐる課題解決に尽力したいです。[社会教育委員]
- ・学校、家庭、地域が目指す子ども像(ビジョン)を共有することの大切さを再確認しました。そういった場を設ける必要性を感じました。[市町村行政担当者]